

科目	現代文B	単位	2単位×35週＝70時間	学年	3年
使用教科書	新編現代文B（東京書籍）	副教材等	なし		

1 学習の到達目標など

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 使用教科書など

使用教科書	東京書籍「新編現代文B」(現 B301)
副教材	「新編現代文B学習課題ノート」(準拠ノート) / 「新総合図説国語」 / その他, 指導用 DVD-ROM 収載の補助資料など ※「4 学習計画, 及び評価規準など」の「備考」欄では, 「新編現代文B学習課題ノート」の扱い方については省略している。

3 評価の観点, 及び内容, 方法

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
評価の内容	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価の方法	・行動の観察(学習活動への参加姿勢や態度) ・記述の確認(ノート, プリント, ワークシート)	・行動の観察(学習活動における発言内容や態度) ・記述の確認(ノート, プリント, ワークシート)	・記述の確認(ノート, プリント, ワークシート, レポート・感想文などの作成した文章) ・定期考査	・行動の観察(学習活動における発言内容や態度) ・記述の確認(ノート, プリント, ワークシート) ・定期考査	・行動の観察(学習活動における発言内容) ・記述の確認(ノート, プリント, ワークシート) ・定期考査

4 学習計画, 及び評価規準など

※「主な評価規準の具体例」の欄に示した「学習指導要領の指導事項(主として該当するもの)」については、学習指導要領の指導事項と対応する記号(ア, イ, ウ, エ, オ)を略記した。

※「関心・意欲・態度」の観点については、各能力(または「知識・理解」)の評価規準に示した内容に、取り組もうとしているということを評価規準とする。

※「備考」欄には、以下の内容が入る。

- 1 学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連 / 2 図書館やICTの活用など / 3 副教材の使用など

学期	月	時数	単元名 単元目標	教材名	学習内容 【言語】-単元で取り上げる言語活動	主な評価規準の具体例
						【話】-話す・聞く / 【書】-書く / 【読】-読む / 【知】-知識・理解 〈評価方法〉 学習指導要領の指導事項(主として該当するもの)
1	4	3	1 評論 1  ▼論理展開に注意して評論を読んで、扱われている問題を正確に捉えよう。  ▼筆者の考え方を手がかりにして、現代社会を生きていくうえでどのような態度が必要なのか	最初のペンギン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「有限の立場」とはどのような立場かを理解する。(手引き2)</li> <li>・「最初のペンギン」という言葉の意味と筆者の言う「創造的な人間」の意味を正確に捉えて、両者の共通点を理解する。(手引き4)</li> <li>・不確実な現代において、われわれはどのようにして判断や行動をしていけばいいかを理解する。(手引き5)</li> </ul> 【言語】科学文明, 機械文明が発達した現代において、当然のようにあるものがどのように開発, 発展してきたかを調べ, そのものの存在意	【話】自分が調べたことをもとに考えをまとめ、正確に発信している。〈行動の観察〉  -エ  【読】「不確実な状況下」での判断と行動を「最初のペンギン」という例示で説明する論理の展開を正確に読み取り、筆者の主張や意見を理解している。〈行動の観察 / 記述の確認 / 定期考査〉  -イ  【知】「演繹」などの評論における難解な語句の意味や用法を的確に理解している。〈行動の観察

		考えよう。		義をまとめて、発表する。	／定期考査> -オ
	4	もう一つの知性 ◆考える楽しみ ③…いちばん大事なことは何？		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報化社会」について筆者の批判的な考えを理解する。(手引き2)</li> <li>・「人間の知性の断片化」の意味を理解する。(手引き3)</li> <li>・筆者の言う「知性のあり方」について理解する。(手引き4, 5)</li> </ul> <b>【言語】</b> 筆者の考える「知性」をもとに知性についての自分の意見を文章にまとめ、発表する。	<b>【話】</b> 「知性」についての自分の意見を的確にまとめ、正確に発信している。<行動の観察／定期考査> -エ <b>【書】</b> 筆者の主張をもとにした自分の「知性」に関する意見を的確にまとめて意見文を書いている。<記述の確認> -エ <b>【読】</b> 「情報化社会」への批判的意見、人間の「知性のあり方」に対する考えを正確に読み取り、筆者の主張や意見を理解している。<行動の観察／記述の確認／定期考査> -イ <b>【知】</b> 「知性」、「テーゼ」、「知悉」、「土発的」などの難解な語の意味や用法を的確に理解している。<行動の観察／定期考査> -オ
5	7	2小説1 ▼優れた小説が、構成や表現の面でどのように工夫されているかを理解しよう。 ▼小説を読むことをとおして、自分とは何か、人間とは何かという問題について考えを深めよう。	山月記	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公李徴の発言によって、小説が構成されていることを理解する。(手引き1, 2)</li> <li>・前半部で語られる李徴の状況と人間像を理解する。また、虎に変身する過程とその時の李徴の心理変化を理解する。(手引き3, 4)</li> <li>・李徴が袁慆に依頼したことを理解する。(手引き5)</li> <li>・李徴自身の気がついた、虎に変身しなければならなかった理由を理解する。(手引き6)</li> <li>・作者がこの小説で語りたかったことを理解する。(手引き6)</li> </ul> <b>【言語】</b> 李徴の生き方についての意見を文章にまとめて、お互いに発表する。	<b>【話】</b> 李徴の生き方についての意見を的確にまとめて、正確に発信している。<行動の観察／定期考査> -エ <b>【書】</b> 李徴の生き方についての意見を文章にまとめることができている。<記述の確認> -エ <b>【読】</b> 前半部の李徴の状況と心理状態、虎になって袁慆に語る自己分析と心理を的確に理解している。<行動の観察／記述の確認／定期考査> -イ・ウ <b>【知】</b> 前半部に集中している漢語の意味を的確に理解している。また、小説における比喩や象徴的な表現も理解している。<行動の観察／定期考査> -オ
6	3	言語活動	1 文学的文章を読んで話し合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説における登場人物の心理を読み取り、そこから理由を明確にして自分の意見をまとめる。</li> <li>・テーマを設定して話題が逸れないように工夫し、それぞれの意見を交換してお互いに批評し合う。</li> <li>・話し合ったことをもとに、自分の意見の検証をする。</li> </ul>	<b>【話】</b> 設定したテーマに沿って自分の考えを論理的に発信している。<行動の観察> -エ <b>【書】</b> 話し合いをもとに自分の意見を検証してまとめている。<記述の確認> -エ <b>【知】</b> 発表するのに必要な語句を的確に使用している。<行動の観察／定期考査> -オ
	7		カンガルー日和	・カンガルーの赤ん坊を見に行くことになった	<b>【話】</b> 「カンガルー日和」という題名の効果について

			◆小説の楽しみ ③…小説のオリジナリティー	<p>経緯と、実際に見ている場面の展開を理解する。(手引き1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カンガルーの赤ん坊を確認する前と後の、彼女の心境の変化を理解する。(手引き2)</li> <li>・カンガルーの赤ん坊を「彼女」が確認する前と後の、「僕」の心境の変化を理解する。(手引き3)</li> <li>・作者独特の軽妙な会話や極端な着想と比喻表現を理解する。(手引き4)</li> </ul> <p><b>【言語】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「才能が枯れ尽きてしまった作曲家のような顔つき」のような極端な比喻表現を味わう。</li> <li>・一般に「行楽日和」などと使われる「日和」を本来なら結びつかない「カンガルー」と結びつけた作者の意図を理解する。</li> </ul>	<p>て、自分の意見を的確にまとめて、正確に発信している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">－エ</p> <p><b>【読】</b> 僕と彼女の会話から登場人物の人間像と、その心理変化を理解していると同時に、作者独特の比喻表現に込められた作者の思いを理解している。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">－イ・ウ</p> <p><b>【知】</b> 作者独特の比喻に込められた暗示性を理解している。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">－オ</p>	
2	9	3	3 随想	<p>カフェの開店準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼個人的な表現に注意しながら随想を読んで、その内容を的確に捉えよう。</li> <li>▼日常への鋭い視線、逆転の発想が描かれた文章を読み、視野を広げよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごく平凡な日常生活に対する筆者の観察の細かさを、自分の体験と比較して理解する。(手引き1)</li> <li>・「目的」と「行為」という言葉に対する、筆者の考えを理解する。(手引き2)</li> <li>・「行為が習慣化したとたん、その行為の源にある生命力は死ぬ。」という言葉の意味を理解し、筆者の「私たちの生」に関する考えを理解する。(手引き3)</li> </ul> <p><b>【言語】</b> 筆者の考える「生」を自分の日常の中で捉えて、どのようなことが言えるかをまとめる。</p>	<p><b>【話】</b> 筆者の「生」に関する考えを理解し、それに対する自分の考えを的確に発信している。〈行動の観察〉</p> <p style="text-align: right;">－エ</p> <p><b>【読】</b> 筆者の言う「目的」と「行為」の意味を理解している。また、それを自らの日常生活に照らして考えている。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">－イ</p> <p><b>【知】</b> 基礎的な語句の意味や用法を理解している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">－オ</p>
			2	なまけものコンプレックス	<p>◆言葉の扉③…的確な表現のために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なまけもの」から筆者が連想している考えを理解する。(手引き2)</li> <li>・「なまけもの」を賞賛する筆者の逆説的なものの見方を理解する。(手引き3)</li> <li>・「なまけものに対して深くコンプレックスを抱いてきた」に込められた筆者の人間批判を理解する。(手引き4)</li> </ul> <p><b>【言語】</b> 筆者の主張に対して、論理的に自分の意見を展開し、発表する。</p>	<p><b>【話】</b> 筆者の「なまけもの」を例とした主張を理解し、それに対する自分の考えを的確に発信している。〈行動の観察〉</p> <p style="text-align: right;">－エ</p> <p><b>【読】</b> 筆者の「なまけもの」から連想した人間批判を理解している。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">－イ</p> <p><b>【知】</b> 基礎的な語句の意味や用法を理解している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">－オ</p>
1	1	0	4 詩歌	<p>竹</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼比喻などの詩的な表現への理解を深め、詩歌に込められた作者の心情を味わおう。</li> <li>▼さまざまな詩歌に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反復法や脚韻を使ったこの詩独特の響きの持つ効果を理解する。(手引き1)</li> <li>・第一連「地下」と第二連「地上」という、違う情景の表現を理解する。(手引き2)</li> <li>・作者が竹に込めた思いを理解する。(手引き3)</li> <li>・萩原朔太郎の近代詩における位置や詩の特徴を理解し、朔太郎の他の詩も読んでみる。</li> </ul>	<p><b>【読】</b> 第一連、第二連の情景を正確に理解している。また、作者が竹の姿に込めている思いを理解している。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">－イ・ウ</p> <p><b>【知】</b> 反復法、脚韻といった詩の修辞技巧や言葉の使い方を理解している。〈行動の観察／定期考査〉</p>

		接して多様な表現を深く味わうことで、鑑賞力を高め、自己の感性を豊かにしよう。			ーオ
	3		永訣の朝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この詩において東北方言をそのまま使った効果を理解する。(手引き1)</li> <li>・この詩に詠まれた情景の展開を理解する。(手引き2)</li> <li>・この詩で語られる妹とし子の気持ちをとし子の東北方言の言葉から理解する。(手引き4)</li> <li>・この詩に込められた作者の思いを理解する。(手引き3, 5)</li> <li>・宮澤賢治の近代詩における位置や詩の特徴を理解し、他の詩も読むと同時に童話も読んでみる。</li> </ul>	<p>[話] この詩のテーマと方言を使うなどの表現方法について、自分の考えを的確にまとめて、正確に発信している。〈行動の観察〉</p> <p>ーエ</p> <p>[読] 情景の展開を正確に読み取り、作者の妹の死への切実な思いを理解している。〈行動の観察/記述の確認/定期考査〉</p> <p>ーイ・ウ</p> <p>[知] 詩における作者の直接的な感情の吐露を理解している。〈行動の観察/定期考査〉</p> <p>ーオ</p>
	2		一日の長さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二連のこの詩における効果を理解する。(手引き1)</li> <li>・第一連の「ぼく」の状況を理解する。(手引き2)</li> <li>・この詩で「ぼく」が感じた一日の長さとし子の一日の長さの違いを理解する。(手引き4, 5)</li> </ul>	<p>[読] 第一連から第三連への情景の展開を正確に読み取り、作者の一日の長さに対する思いを理解している。また、こどもの一日との比較を最後の連においた作者の意図も理解している。〈行動の観察/記述の確認/定期考査〉</p> <p>ーイ・ウ</p> <p>[知] 「弦ばかりの慌しい戯れ」という比喩や「つかのまうっとり 聞いたほかに？」が直接つながる部分などの詩独特の言い回しを理解している。〈行動の観察/定期考査〉</p> <p>ーオ</p>
	3		春雷【俳句】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの俳句の季語を確認し、その俳句に詠まれている季節を理解する。(手引き1)</li> <li>・それぞれの俳句に詠まれた情景を読み取ると同時に、そこに込められた作者の心情や感動を理解する。また、それをもとにして俳句の鑑賞文を書く。(手引き2, 3)</li> <li>・体言止め、句切れ、切れ字などの修辞技巧を理解する。</li> <li>・それぞれの俳人の文学史における位置を理解する。</li> </ul>	<p>[読] それぞれの俳句に詠まれた情景や作者の思いを理解している。〈行動の観察/記述の確認/定期考査〉</p> <p>ーイ・ウ</p> <p>[書] 俳句に詠まれた情景や作者の心情・感動を正確に理解して、鑑賞文を書いている。〈記述の確認〉</p> <p>ーエ</p> <p>[知] 俳句における季語、切れ字などの修辞技巧を理解している。また、村上鬼城、尾崎放哉、杉田久女、加藤楸邨、水原秋桜子といった俳人の文学史における位置を理解している。〈行動の観察/定期考査〉</p> <p>ーオ</p>
1 1	3	言語活動	4 課題を設定して調べた成果をまとめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的かつ調査可能で、興味・関心があるという点に注意して、課題を設定する。</li> <li>・本などの活字になったもの、インターネット、訪問・見学などといった調査方法を理解する。</li> <li>・調査した情報を整理し、それをまとめて報告書を作成する。</li> </ul>	<p>[書] 調査した情報を効果的に利用して、報告書を作成している。〈記述の確認〉</p> <p>ーエ</p> <p>[知] 調査する内容の設定の仕方、調査方法を的確に理解している。〈行動の観察/定期考査〉</p> <p>ーオ</p>

	5	5 評論 2	「環境史」から考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治時代の新聞の予言をもとに筆者が述べようとしていることを理解する。(手引き2)</li> <li>・人間の願望や欲望が進めた近代化の弊害を理解する。(手引き3)</li> <li>・筆者の言う今後の人類の課題について理解する。(手引き4, 5)</li> </ul> <p><b>【言語】</b> 環境問題で関心のあることを選び、その問題点等をさまざまな方法で調べて、報告書を作成し、発表する。</p>	<p><b>【話】</b> 環境問題について調査した内容を的確にまとめ、正確に発信している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p>—エ</p> <p><b>【書】</b> 環境問題について調査した内容を的確にまとめて報告書を作成している。〈記述の確認〉</p> <p>—エ</p> <p><b>【読】</b> 明治時代の新聞の予言をもとにした筆者の意見、筆者の言う近代化の弊害を正確に読み取り、筆者の主張や意見を理解している。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p>—イ</p> <p><b>【知】</b> 歴史にかかわる用語、環境にかかわる用語などの意味や用法を的確に理解している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p>—オ</p>
1 2	6		<p>モードの論理</p> <p>◆考える楽しみ</p> <p>④…困難な時代に</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「モード」について着る側の論理と売る側の論理を理解する。(手引き2)</li> <li>・人間が自分の身体をどう捉えているかを理解する。(手引き3)</li> <li>・モードに関する過去の思想家の言葉を筆者がどのように自分の意見の論証に使っているかを理解する。(手引き4)</li> <li>・「モードの論理」を読み取ると同時に、最後の「時間が耐えられないほどに『軽く』感じられるようになるわけです。」と言う筆者の考えを理解する。(手引き5)</li> </ul> <p><b>【言語】</b> 自分自身がファッションやモードに関して調べたこと、考えたことを文章にまとめて発表する。</p>	<p><b>【話】</b> ファッションやモードについて、調べたり、考えたりした内容を的確にまとめ、正確に発信している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p>—エ</p> <p><b>【書】</b> ファッションについて調べたこと、考えたことを的確に文章にまとめている。〈記述の確認〉</p> <p>—エ</p> <p><b>【読】</b> 筆者の言う、ファッションが売る側の論理で作られているということ、モードとは結局は絶えず自己否定を続けるものであるということ、その内容を正確に読み取り、その内容を理解している。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p>—イ</p> <p><b>【知】</b> 「セルフ・イメージ」、「センシビリティ」、「アイロニカル」などの難解な用語の意味を的確に理解している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p>—オ</p>
3	1 6	6 小説 2	葉桜と魔笛	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この小説の冒頭部と最後の部分から、この小説の構成を理解すると同時に、情景の展開も理解する。(手引き1)</li> <li>・「私」の言動をもとにして、「私」の心理を理解する。(手引き2, 3)</li> <li>・「葉桜」が示す季節と「魔笛」がこの小説で果たしている役割を理解する。(手引き5)</li> </ul> <p><b>【言語】</b> この小説を読んだ感想を的確に文章にまとめ、発表する。</p>	<p><b>【話】</b> この小説の感想を的確にまとめて、正確に発信している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p>—エ</p> <p><b>【書】</b> この小説の感想を、論理的に文章にまとめることができている。〈記述の確認〉</p> <p>—エ</p> <p><b>【読】</b> 物語の展開を正確に捉え、「私」の心理と妹の心理を理解する。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p>—イ・ウ</p> <p><b>【知】</b> 明治時代の家庭状況、日本海海戦など歴史的事実を理解している。また、小説における比</p>

		う。			<p>喩や象徴的な表現の仕方も理解している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p>ーオ</p>
2	4	<p>◆小説の楽しみ ④…不条理と文学</p>	<p>鞆</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「私」と「青年」のセリフに注意して、物語の展開を理解する。(手引き1)</li> <li>・「私」が「青年」と青年の「鞆」に対して持っている疑念を理解する。(手引き2)</li> <li>・「青年」にとっての「鞆」はどのようなものかを理解する。(手引き3)</li> <li>・行く道を束縛されながらも自由だという真理を理解する。(手引き4, 5)</li> </ul> <p>【言語】この小説の暗示性とストーリーのおもしろさを読み取り、それを紹介する文章を書く。</p>	<p>[読] セリフの発言者を確認して、物語の展開を正確に理解する。また、作者がこの小説で語りたかった「束縛」と「自由」ということを理解する。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p>ーイ・ウ</p> <p>[書] この小説の内容を的確に捉え、その紹介文を工夫して書いている。〈記述の確認〉</p> <p>ーエ</p> <p>[知] 現代小説の超現実主義の作品を理解している。また、奇抜な着想や象徴的かつ暗示的な表現の仕方も理解している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p>ーオ</p>
5	7 評論3	<p>▼筆者の述べる人間や社会についての的確に理解し、評論の読み方を習得しよう。</p> <p>▼現代社会と人間との関わりについて理解を深め、自らの考えをまとめ、的確に表現する力を養おう。</p>	<p>ホンモノのおカネの作り方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ニセガネとは『似せ』ガネなのである。」と筆者が言う意味を理解する。(手引き1)</li> <li>・「預かり手形」が本物のお金と同等に扱われるようになる過程と理由を理解する。(手引き2)</li> <li>・「ニセガネ」と「預かり手形」の違いを理解する。(手引き3, 4)</li> <li>・お金の本来の意味と「預かり手形」が現代の経済の仕組みにつながる過程を理解する。(手引き5)</li> </ul> <p>【言語】現代の経済の仕組みについて、他教科で学んだことや調べたことをもとにして話し合う。</p>	<p>[話] 現在の経済の仕組みに関心を持ち、調べたり、他教科で学んだりしたことを的確にまとめ、正確に発信している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p>ーエ</p> <p>[書] 現代の経済について学んだこと、調査したことを、話し合えるように的確にまとめている。〈記述の確認〉</p> <p>ーエ</p> <p>[読] 筆者の言う、「預かり手形」が本来の金の役割を担って現代の経済の仕組みにつながる過程を理解している。また、「ニセガネ」と「預かり手形」の違いを理解している。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p>ーイ</p> <p>[知] 「逆説」、「形而上学」などの難解な用語の意味を的確に理解している。また、「銀行券」などの経済用語も理解している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p>ーオ</p>

3	6	<p>国際化の流れの中で</p> <p>◆言葉の扉④…</p> <p>現代の敬語表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の言う「江戸時代」とは日本人にとってどのようなものであったかを理解する。(手引き2)</li> <li>・筆者の言う「室町・桃山時代」の重要性を「宣教師」「国際貿易」「技術革新」を中心にして理解する。(手引き4)</li> <li>・「日本人の社交性」について「江戸時代」と「室町・桃山時代」との違いを理解する。(手引き4)</li> <li>・「我々の内部にある、いわば江戸的でない性格を発見して、それを育てていくことが重要である」という筆者の結論を理解する。(手引き5)</li> </ul> <p><b>【言語】</b> 現代の日本人の国際化に必要なと思われることを、筆者の意見を参考にしながら、800字程度の文章にまとめる。</p>	<p><b>【話】</b> 現在の国際化に関心を持ち、調べたり、考えたりしたことを的確にまとめ、正確に発信している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">—エ</p> <p><b>【書】</b> 筆者の意見を参考にして、国際化に必要なことを考え、それを論理的な文章にまとめている。〈記述の確認〉</p> <p style="text-align: right;">—エ</p> <p><b>【読】</b> 「国際化」において、「江戸時代」と「室町・桃山時代」の違いを筆者がどう捉えているかを理解している。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">—イ</p> <p><b>【知】</b> 「宣教師」などの歴史的な言葉、「連歌」などの文化的な言葉の意味を的確に理解している。また、「国際化」などの現代を考える上での重要なキーワードも理解している。〈行動の観察／定期考査〉</p> <p style="text-align: right;">—オ</p>
---	---	--	--	---